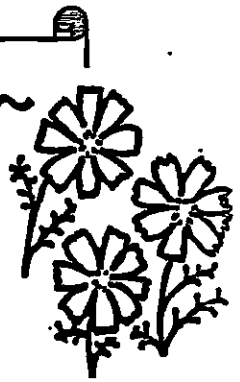


～三重に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



“途切れのない支援”システム構築の 協働支援は日々更新中！

三重県に住むすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、あすなろ学園は多くの市町と協働しながら以下の取り組みを進めています。

- ① 保健・福祉・教育等部局一元化した室（機能）の設置
- ② 3歳児・5歳児「発達指標」の施行、「個別の指導計画」の作成、巡回指導による子ども支援スキルの導入
- ③ 発達障がい支援システムアドバイザー研修（目利き・腕利き研修）

- ✦ “途切れのない支援”システム(室またはネットワーク)が運用～
亀山市・津市・志摩市・玉城町
- ✦ 「発達指標&個別の指導計画」を活用、春季より『巡回指導』取り組み中～
鈴鹿市・津市・伊勢市・尾鷲市・川越町・大台町・度会町・大紀町
- ✦ 「発達指標&個別の指導計画」を活用、秋季より『巡回指導』取り組み開始～
鳥羽市・熊野市・木曾岬町・朝日町・多気町・南伊勢町・紀北町・御浜町・紀宝町
- ✦ 「発達指標&個別の指導計画→巡回指導」予定～
伊賀市・東員町・菰野町・明和町
- ✦ 「発達障がい支援システムアドバイザー研修」取り組み中～
いなべ市・川越町・鈴鹿市・津市・志摩市・県教委内地留学（いなべ市・名張市）

10月現在、途切れのない発達障がい支援システム構築に向けての取り組みは、25市町になりました。9月には厚労省の「市町村職員セミナー」での発表（3面に掲載）、10月にはNHK総合TV「ナビゲーション」で放映となるなど全国的にも発信されました。

発達指標、個別の指導計画&巡回指導

ただ今、秋季巡回指導の真っ最中です。巡回先では、子どもにとってわかりやすい保育・幼児教育の提案や効果的な支援の仕方を療育用のアイテムを示しながら、できる限り具体的な形でアドバイスをしています。巡回先の先生方からは、「個別の指導計画を作成して、アドバイスどおり実践したら子どもが変わった」「気になる児にわかりやすい保育をしたらクラス全体が落ち着き安定してきた」などの報告をいただいています。

このことは、発達指標により子どもの発達を見極め、個別の指導計画作成、実践により有効な支援を実行した結果と言えるでしょう。春秋2回の巡回指導は保育・幼児教育の質を向上させるための目利き・腕利き養成となり、園を訪問させていただく度に先生方の達成感にうち満ちた表情が伺われます。

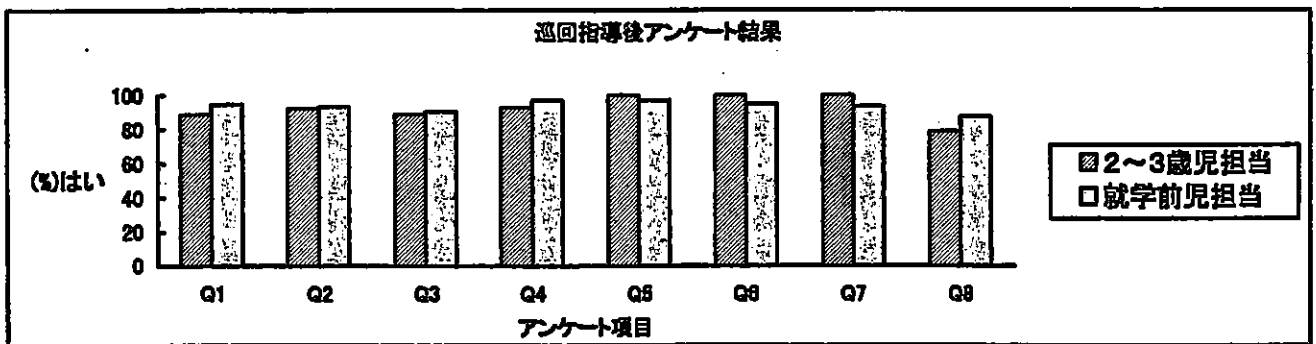
この取り組みで得られた支援ツールは現場にとっての宝物であり、それらを次のステージへ具体的に引き継ぐことが、“途切れのない支援”の第一歩といえます。

春季：「巡回指導」アンケート集計結果報告

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

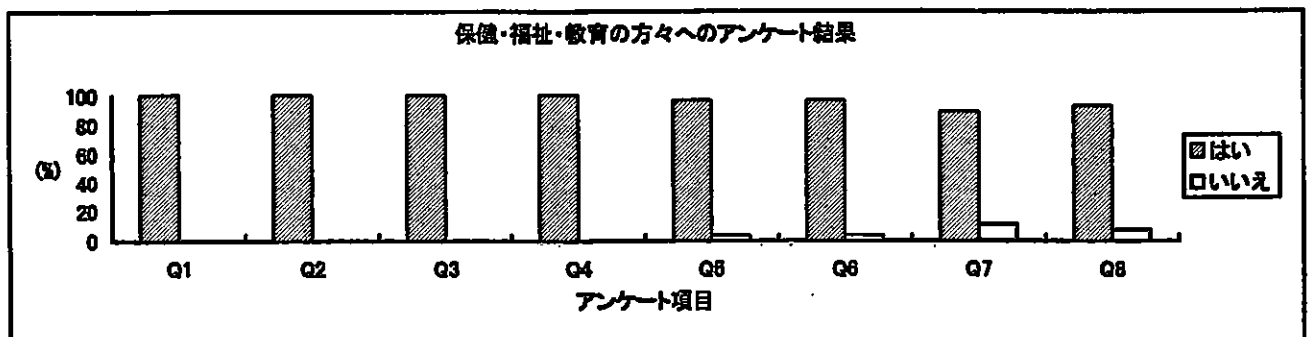
< 保育園・幼稚園の方々へのアンケート >

- Q1. 「2～3歳児及び就学前児の観察項目」のチェックで、気になる子どもの発見はできましたか。
- Q2. 「2～3歳児及び就学前児の観察項目」での発見後、早期支援ができましたか。
- Q3. 早期支援の取り組みとして「個別の指導計画」は役立ちましたか。
- Q4. 「2～3歳児及び就学前児の観察項目」と「個別の指導計画」を継続していく必要があると思いますか。
- Q5. 「2～3歳児及び就学前児の観察項目」と「個別の指導計画」を継続していくことで早期発見、早期支援のスキルアップができていくと思いますか。
- Q6. 巡回指導のアドバイスは適切な支援につながりましたか。
- Q7. アドバイスは他のケースに応用できましたか。
- Q8. 保育所・幼稚園全体でこのケースを通して研修できましたか。



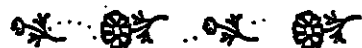
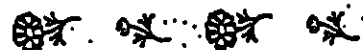
< 保健・福祉・教育（行政）の方々へのアンケート >

- Q1. 「途切れのない支援システム」を構築する必要性が理解できましたか。
- Q2. 「2～3歳児発達指標」「就学前児発達指標」「個別の指導計画」の必要性について理解できましたか。
- Q3. この取り組みによって、早期発見、早期支援ができると思いますか。
- Q4. この取り組みによって、市町の保育士、幼稚園教諭のスキルアップになりましたか。
- Q5. 保健、福祉、教育、行政職員のスキルアップになりましたか。
- Q6. この取り組みによって「保健・福祉・教育の連携」が以前よりもスムーズになりましたか。
- Q7. あすなろ学園からの説明や巡回指導等により「発達総合支援室及びその機能」を構築しようとする機運は高まりましたか。
- Q8. あすなろ学園からの説明や巡回指導等により「あすなろ学園への派遣研修（1年間）」の必要性を感じましたか。



今後関わる市町の方々からも忌憚のないご意見をいただき、評価いただける取り組みを展開していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

発達障害児支援の



取り組みを紹介

厚労省で市町村職員セミナー

あすなろ学園と志摩市、亀山市

【東京】厚生労働省の「第七十五回市町村職員セミナー」が十九日、東京都千代田区霞が関の同省であり、発達障害児支援について県立小児心療センターあすなろ学園と志摩市、亀山市が取り組み状況を発表した。

同セミナーは先進的な取り組みをしている自治体に事例を発表してもらい、ほかの自治体の施策展開の参考にしてもらうと厚労省が開催。今回のセミナーには全国市町村職員ら約二百八十人が参加した。

今回、県内から発達障害児支援の事例を発表したのは中村あすなろ学園医療部こともの発達総合支援室長、海田真仁志摩市健康福祉部子育て支援第二係長、志村浩二亀山市保健福祉部子ども総合支援室長の三氏。

中村室長は、発達障害児に対応できる途切れない支援体制を構築するため、県が平成十九年度に同学園に設置した「JAMの発達総合支援室」の取り組み状況を報告。

子どもにかかわる対応は保健や保育、福祉、教育など多岐にわたり、さらに乳幼児期から青少年期に至るまでの総合的で一貫した対応が必要だと強調。そのため同省は「オンストップ」の対応が可能となる市町の体制構築の支援②、乳幼児発達チェック手法と支援方法の開発③、保育士や保健師など市町村職員の人材支援④に取り組んでいるとした。



発達障害児支援の取り組みを報告する中村室長＝東京都千代田区霞が関の厚労省で

伊勢新聞2008年9月20日付朝刊 より(この記事は転用許可済みです)

風の便り・・・！～県内市町における取り組み紹介～



志摩市における“途切れない支援”の取り組みについて

志摩市子育て支援課 谷 礼子さん

あすなろ学園の研修を終え、本格的に『子育て支援係』としてスタートして早や7ヶ月が過ぎました。昨年はあすなろ学園で研修しながら『子ども総合支援係』を兼務する一年でしたが、今年は一より立ちしての一年生、まだまだ仕事内容が浸透していない中でのスタートでした。毎日は緊張の連続ですが、「あすなろに行ったら、『THE市町支援通信』に谷さんの名前が載ったから、もらってきたよ！」という保護者の方からのお声かけや、「ありがとう。しばらくこれでやってみるわ！」という現場の方からのお言葉に支えられながら、子どもの困り感に添った“途切れない支援”の取り組みに励んでいます。

具体的には、指導主事の前田先生と市内の全保育所・幼稚園を訪問したり、大きなカゴに療育の手作りグッズを入れて持参し紹介したり、スケジュールや絵カードをお知らせするのにわかりやすいようにと、自分で作って現場で実物を見せたり、個別の指導計画立案のお手伝いをさせていただいたりしています。小学校・中学校へはまだまだまわりきれていないのが実状ですが、検討会をコーディネートしたり、公開授業の参観や夏休み中の校内研修会に呼んでいただいたりしました。

また、保護者の方から聴き取りをさせていただく機会もあり、一担任としてならそこまで聞かせてもらえないような本音にも触れることができ、保護者の方と現場の先生方と自分たちとが、バランスのよいトライアングルとなって連携していくことの大切さを日々実感しています。

変化に弱い子どもたちが、在籍する機関が変わってもスムーズに過ごせるよう、子どもたちの目線に立った引き継ぎを目指し、“途切れない支援”をしていきたいと思っています。

～大好評！「途切れのない支援」システム 事例検討 研修会～

この夏、県内各地で様々な形の研修会が催されました。対象は、保育士&幼稚園教諭さん、学習支援員さん、特別支援コーディネーターさん、特別支援保育コーディネーターさん、小児科医さん、保健師さん、etc・・・と、レポーターに富んでいましたが、研修形態で多かったのが「事例検討会」でした。参加された方々からは、前半-講演形式、後半-事例検討方式というのが「わかりやすかったし、色々考えていけて今後の取り組みにとても役立った」とのご意見を沢山頂戴いたしました。

「事例検討」は、参加者を6～7人1グループとして分け、設定された時間内ケース検討を行います。「もしも自分が担任ならば・・・」、「以前担当していた時にこんなことをしていた・・・」という調子で、経験や知識、素敵なアイデアや柔軟な発想等フルに発揮し、子どもへの巧い対応を考えていく実践的な研修です。参加者が積極的に課題解決に向け議論を交わすため、子どもの見方や様々なノウハウをお互いが学び合い吸収し合えると、大変好評でした。

そこで、ただ今「冬季研修会(希望があれば講演もセットで)」に関するご希望を受付けております。研修会・講演会等に関するご希望ご相談がございましたら、各市町様窓口を通じ、お気軽にご連絡下さい。



いなべ市特別支援保育コーディネーター研修会(2008年8月25日)より

インフォメーション

- ① 機構改革等システム構築に関するアドバイス及び各種ご相談を承ります。
- ② 発達障害児支援システムアドバイザー研修会
日時：平成21年2月23日(月)午後
場所：アスト津(アストホール 4F)
内容：支援システムアドバイザー認証式、平成20年度モデル事業報告、他
【特別講演】NPO法人えじそんくらぶ代表 高山恵子さん

2008年10月24日

<発行>三重県小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL:059-234-8700 FAX:059-234-9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.jp/ASUNARO/HP/